

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ワクチン接種目標の達成

ポリシー・ブリーフ

2022 年 9 月 14 日版

原文（英語）：

WHO policy brief: Reaching COVID-19 vaccination targets

14 September 2022

https://www.who.int/publications/i/item/WHO-2019-nCoV-Policy_Brief-Vaccination-2022.1

キーポイント

- WHO の最新の世界 COVID-19 ワクチン接種戦略(1)は、COVID-19 ワクチン接種目標を達成するために加盟国が考慮すべき重要なアクションを次のように設定している。
- ワクチンは（ブースター接種も含めて）、接種が不完全な状況下では優先度の高いグループに実施されるべきである。
- 改善された特性をもつワクチン製品の研究と開発に投資することを各国に助言している。
- 製造協定を通して特性が改善されたワクチン製品をすべての国に公平に流通させ、早期に入手可能となるように奨励する。
- 成人のワクチン接種をデリバリーにて行う方法を開発する可能性を調査する。
- 潜在的な健康上の緊急事態の経過を適切にモニタリングするための健康情報システムを強化し、政策決定の時期と目標を伝える。
- 2022 年以降の COVID-19 ワクチン接種の取り組みの持続可能性を確保する。

イントロダクション

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の初発の症例が報告されてから 2.5 年以上経過するが、パンデミックはいまだに緊急性のあるグローバルな課題である。現時点でも何百万人の人が毎週新型コロナウイルスに感染し、2022 年の初めの 8 か月間では 100 万人以上の人々が COVID-19 のために死亡したと報告されている（参照：[WHO COVID-19 Dashboard](#)）。現在ある救命ツールが利用可能であり、適切に利用されている場合、COVID-19 はマネジメント可能な疾患となり、罹患率と死亡率を有意に減少させることができる可能性がある。命や暮らしは守られるが、まだやらなければならないことはある。

WHO は COVID-19 への対応を維持するために直面する各国の課題を認識する一方で、競合する公衆衛生上の課題、紛争、気候変動や経済危機へ対応している。WHO は現在までの成功や国家レベルでの対応を通して学んだことを反映する COVID-19 戦略を調整することに関して各国をサポートし続けている。

世界での COVID-19 の緊急事態を終わらせるための国レベル及び世界レベルの取り組みを助けるため、WHO は the COVID-19（世界的な準備や対応のプラン：[Global Preparedness, Readiness](#)

[and Response plan](#)) を 2022 年に更新し、2 つの戦略的な目的の枠組みを作成した。まず、個人を守る、特に重症化する恐れがあったりウイルスに職業的に曝露しやすかったりする脆弱性のある個人を守ることで、新型コロナウイルスの循環を減少させること。このアクションは、ウイルスが進化し次の変異株が出現する可能性を減少させるように働き、保健制度への負荷も減少する。次に死亡率、罹患率、長期の後遺症を減少させるために COVID-19 を予防し、診断し、治療すること。WHO のプランは効果的な対策と必要な供給が、研究され、発展し、公平に手に入れられるようになることを見通している。

集団免疫のレベル、人々の信条や COVID-19 の診断、治療、ワクチン、個人用防護具、その他の健康上、あるいは健康上ではない緊急性のある課題の違いも含めてさまざまな要素があるために COVID-19 に関する状況が国によって異なることを鑑みて、WHO は [6 つの短いポリシーブリーフのパッケージ](#) を作成した。このブリーフは各国に対して、逼迫しているあるいは長期的な COVID-19 への脅威に対応する重要な側面に注目するための政策を更新する手助けを行うとともに、公衆衛生のインフラをさらに強固にするための土台固めを目的としている。(参照：[Strengthening the Global Architecture for Health Emergency Preparedness, Response and Resilience](#))

これらのポリシーブリーフは国レベルあるいはそれに準じた政策立案者が次のことを導入できるような重要なアクションの枠組みを提供している。COVID-19 検査、COVID-19 の臨床的マネジメント、COVID-19 ワクチン接種目標の達成、医療機関での COVID-19 の感染予防管理策の維持、リスクコミュニケーションや地域関与を通じた信頼構築、COVID-19 インフォデミックの管理対策。本ポリシーブリーフは、COVID-19 のワクチン接種目標の達成に焦点を当てている。

このポリシーブリーフの目的

この文書（と残り 5 つの COVID-19 ポリシーブリーフ）は、WHO が公開した COVID-19 テクニカルガイダンスの推奨に基づいた重要なアクションに関する加盟各国のための短い概要である。この話題と競合する健康や健康と関わりのない緊急事態下においても、救命のアクションを維持する持続可能な経済、そして労働力の訓練・保護・尊重の必要性についても明確にしている。また、他の差し迫った公衆衛生上の課題と関連した COVID-19 に対する短期・長期的対応を強化する必要性も認識している。

加盟国が COVID-19 政策を整える上で検討すべき重要なアクション

1. 優先度の高いグループへのワクチンの迅速な展開に投資する

世界 COVID-19 ワクチン接種戦略は主要目標を掲げている(1)：死亡率と罹患率を減らし、保健制度を保護し、既存のワクチンにより社会経済活動を再開するための機運を維持・上昇させること。この目標を達成するためには、WHO 予防接種に関する専門家の戦略的諮問委員会（strategic advisory group of experts : SAGE）ロードマップに従い、現在認可されているワクチンを活用して人々にワクチン接種を実施することが重要である。

優先度が最も高い、または高い集団がまずワクチン接種を受ける必要がある。COVID-19 ワクチン接種への優先度が最も高い集団とは、高齢者、医療従事者、免疫不全者が含まれる。優先度の高いグループには併存疾患のある成人、妊娠中の人、教師やその他のエッセンシャルワーカー、

COVID-19 重症化のリスクが高い社会人口統計学的に恵まれない集団が含まれる。これらのグループは国の政策でも推奨されているようにブースター接種も含め効果的なワクチン接種のスケジュールを用いて早急にワクチン接種を受けるべきである。国により、これらの集団に到達する力が異なるかもしれないが、死亡や罹患を減らし、保健制度を維持し、持続可能な社会経済活動を確保するために 100%カバーするという野心的な目標を達成するために努力するべきである。

このグループの次に、その他の成人、併存疾患を有する小児や青少年を含めた中程度の優先度の集団がワクチン接種を受けるべきである。各国はより広範な集団にワクチン接種をさらに拡充する機会を提供することを検討するべきである。最も優先度の低い集団は小児と青年で構成されている。国家及び地域の政策立案者は、いくつかの率先した計画を投資として検討することができる。

需要の創出：目的は、地域の行動的社会的データに基づいてワクチン接種の障壁と推進要因を理解することにある。さまざまな戦略が必要となる可能性があり、計画の指針となるコミュニティ代表者との関わり、カスタマイズされたサービス提供戦略のデザイン、情報ギャップを埋め、情報に基づいた意思決定をサポートするためのターゲットを絞ったコミュニケーションが含まれる。

ターゲットを絞った予防接種のキャンペーン：目的は高齢者、医療従事者や一般的なキャンペーンを通じて適切なサービスを受けないことの多い優先度の高いグループに対して、集団予防接種を達成することにある。

人道的対応へのアプローチの更新と修正：ここでは避難民にも行き届くために、絶対に不可欠なパートナーと関わる必要がある。

2. ワクチン製品の研究と開発への投資

WHO の世界 COVID-19 ワクチン接種戦略は別の目標も掲げている。耐久性のある広範な集団免疫を獲得し、伝搬を減らすために、改良したワクチンの開発と入手可能性を加速させること (1)。国レベル、地域レベルの政策立案者は、より耐久性があり広範に保護することで伝搬を減らすようなワクチンを行き届けるために、抜本的イノベーションへの財政的及び技術的な投資の増加を検討するべきである。WHO は更新された標的製品のプロファイルとワクチン組成の推奨事項を通じて、ワクチン開発のための指針を提供している(3, 4, 5)。

新型コロナウイルス伝搬を大幅に減少させることは、新たな懸念される変異株 (VOC) の出現に関連するリスク管理に役立ち、免疫回避によって引き起こされている疾患の世界的な大流行が繰り返される可能性を減らすことができるだろう。

3. 製造協定を通じて、特性の改善したワクチン接種がすべての国で早期に入手可能となることを目指す

パンデミックが始まって以来、WHO は疾病管理への協調的で公平なアプローチを達成することを目的として、すべての国でワクチン製品が早期に入手可能となるように努めてきた。この追求は当初わかりにくいものであり、2022 年初頭までは低所得者層へのワクチン供給へのアクセスは最適ではなかった。

以降、特性が改善されたワクチンが開発されるにつれ、国レベル、地域レベルの政策立案者へは、特性が改善されたワクチン製品を早期に入手可能とすることを目標とする、製造やアクセスに関する協定を通じ、新規及び改良された製品への公平なアクセスを確保することが推奨されてきた。これらの取り決めは WHO の推奨に沿ってすべての国で実施されるべきである。国レベル、地域レベルの政策立案者は製造の自立性をより高めるために、地域協力協定を模索することが推奨される。

4. 成人のワクチン接種をデリバリーにて行う方法を開発する可能性を検討する

他の予防接種やプライマリケアサービスから資源を奪うことなく、リスクが最も高い及び高いグループにおいて接種の高いカバレッジを達成するには、各国はあらゆる年齢において COVID-19 ワクチン配送接種（つまりプラットフォーム）の開発と統合を検討する必要がある。これはどの所得水準の多くの国にとっても重要なステップであり、必要に応じて定期的なブースター接種での COVID-19 ワクチン接種の持続可能性を確保するだけでなく、成人を対象とした他の予防接種やプライマリケアの機会も生み出しうる。

ワクチン接種プラットフォーム開発には配送、供給と物流、財政、人的資源、サーベイランスとモニタリングと評価、その他の要素が含まれる。これには、現在予防接種を提供していない成人のプライマリヘルスケアサービスの範囲を拡大し、予防接種プログラムのパートナーシップを拡大することが含まれる。

5. 健康情報システムを強化する

健康情報システムは予防接種の取り組みの核となるものである。政策立案者はスケジュール、製品、年齢とリスクグループにより、ワクチンの接種率とワクチンのパフォーマンスをモニタリングし、供給が可能であるかをモニタリングすることが推奨されている。これらのシステムにより、潜在的な健康上の緊急事態の進展を適切にモニタリングし、政策決定のタイミングと目標を伝える必要がある。

結論

現時点では世界中のほぼ全ての国において COVID-19 ワクチンは使用されており、これまで 120 億回以上投与されている。2021 年には 1980 万人の死亡が回避されたと推定されている。にもかかわらず、新型コロナウイルス及び現在利用可能なワクチンの特性のため、ウイルスの伝搬は引き続き堅固である。繰り返される疾患の流行の波と新しい変異株の出現により、リスクと課題は存在し続けている。2022 年以降も健康、社会、経済システムを守るために疾患の潜在的な新たな流行波に迅速に対応し、COVID-19 ワクチン接種の持続可能性を保障することが加盟国にとって重要である。これらにはプログラムの実施と新規のワクチン研究への投資のための資金やその他の資源を確保することが含まれる。

更新予定

WHO はこのポリシーブリーフに影響するあらゆる変化に対し、注意深く状況のモニタリングを

継続する。新しいエビデンスが入手・確認され次第、必要なアップデートを発行する。

参考資料

1. Strategy to Achieve Global Covid-19 Vaccination by mid-2022. Geneva: World Health Organization; 2022. Retrieved August 15, 2022, from <https://www.who.int/publications/m/item/strategy-to-achieve-global-covid-19-vaccination-by-mid-2022>.
2. WHO SAGE Roadmap for prioritizing uses of COVID-19 vaccines. Geneva: World Health Organization; 2022. Retrieved August 15, 2022, from <https://www.who.int/publications/i/item/WHO-2019-nCoV-Vaccines-SAGE-Prioritization-2022.1>.
3. WHO Target Product Profiles for COVID-19 Vaccines. Revised version April 2022. Geneva: World Health Organization; 2022. Retrieved August 15, 2022, from <https://www.who.int/publications/m/item/who-target-product-profiles-for-covid-19-vaccines>.
4. Interim statement on decision-making considerations for the use of variant updated COVID-19 vaccines. Geneva: World Health Organization; 2022. Retrieved August 15, 2022, from <https://www.who.int/news/item/17-06-2022-interim-statement-on-decision-making-considerations-for-the-use-of-variant-updated-covid-19-vaccines>.
5. Interim statement on the composition of current COVID-19 vaccines. Geneva: World Health Organization; 2022. Retrieved August 15, 2022, from <https://www.who.int/news/item/17-06-2022-interim-statement-on-the-composition-of-current-COVID-19-vaccines>.

© World Health Organization 2022. Some rights reserved. This work is available under the [CC BY-NC-SA 3.0 IGO](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/) license.

WHO reference number: WHO/2019-nCoV/Policy_Brief/Vaccination/2022.1